

浜坂病院 整形外科常勤医獲得へ奮闘中！

浜坂病院の整形外科においては、現在も常勤医が欠けていることにより、診療日は、「金曜日午前のみ（黒田先生）」と「予約診察の火曜日午後のみ（鳥取市立病院・副院長 森下先生）」となっていますが、お二人の先生との連携により、症状によっては通常診察時間帯での総合診療科対応も実施しています。（予約診察は変更なく、受付（0796-82-1611）を通して整形外科外来へお問い合わせください。）

看護師さん他のスタッフ不足については、病院関係者と皆さまのご協力により、医療体制と就労環境の正常化が進められてきました。更なる改善のため**スタッフの募集は継続中**です。

総合診療科は、新しい医療分野の診療科で、患者さんの心身の健康面、家族関係、就労・経済状況などを踏まえ、特定の臓器・疾患に限定せず多角的に診療を行う部門です。さいたま市民医療センターの石田岳史先生（元浜坂病院在り方検討委員会委員長）は、日本の医師不足解消と医療合理化の決め手になると話しておられました。浜坂病院は、地域医療環境改善に取り組んでいます。

どうなる？巨大風力発電プロジェクト



本町熊谷地区を中心に計画されている風力発電事業に関して、兵庫県は環境省に対し、事業認可に当たっての厳格・慎重な審査を求め、県の騒音規制基準の見直しも検討を進めています。

強化される規制により、計画された事業の約半分が実施できなくなる予定です。

参加させていただいた行事

夢が丘中学校文化祭



11月10日（日）夢が丘中学校文化祭の演劇を鑑賞しました。私の中学生時代と異なり、舞台だけでなく、体育館全体をエリアに繰り広げる役者たちののびのびとした演技に頼もしさを感じました。

一方で、この町が一人ひとりの夢を支援できるようであって欲しいと思いました。

アンケートでは、署名の上、その感想を誤字付で記すという、はずかしい落ちを残してきました。

令和二年成人式



1月12日（日）浜坂多目的ホールで成人式が開催され、礼儀正しい新成人と麒麟獅子に心を洗われました。

コーヒーによるまちづくり

11月15日（金）諸寄基幹集落センターで、コーヒーを活用したまちづくりをテーマに焙煎からコーヒー立てまでを学びました。

コーヒーは生鮮食品であること、にがさは酸化によるものだということを知り、まちづくりへの活用がひらめきました。



この町政報告は年4回の発行を予定していますが、毎回の全戸的配布は困難なため、配布希望していただける方は当方まで、ご住所とお名前をお知らせください。ご意見等もお待ちしております。

町政報告 2020年初春第9号

柝の実通信

（ただっちゃん つうしん）

新温泉町議会議員

かわごえ

河越ただし

住民の幸せ追求が町政のつとめ

発行：河越 忠志

〒669-6801 新温泉町井土 978-1 TEL0796-92-2428 FAX92-2206

E-mail:take2428co@coffee.ocn.ne.jp http://take2428.com/

新春



正月の居組海水浴場・居組港

令和2年幕開け

新元号での初めての新年を皆さま、期待を持って、迎えられたことと存じます。

今年は作年に続き、雪のない正月となり、過ごしやすく有り難いと思うと同時にスキー関係事業者や冬に雪のないことの長期的弊害を心配しています。

困難は少なく、本年が皆さまにとって、幸多き年になるよう願っています。

議員活動も3年目を迎え、この「柝の実通信」を初め、思いを伝えることの難しさを実感していますが、本年も、ご意見をお願いいたします。

＜12月議会 浜坂認定こども園関連補正予算修正動議提出＞

理由① 大庭認定こども園のあり方、存続に関して、本町の現状において合理性を欠いた内容説明しかできていないこと。

大庭認定こども園の存続を現時点で決定づけるには、「病児病後児保育、或いは24時間保育等少数者を排除しない特別保育環境整備等」を主目的とする立地に対し絶対的理由づけが不可欠だ。その上で現時点では一般児童も受け入れることとする整備以外に説得力のある説明は不可能。

理由② 行政の安全確保とは想定される自然現象等に対する無条件の安全を確保することだとの考え方に基くと、決定した建替え候補地での整備方針案では、行政としての安全確保ができていない。

公共施設整備において、まして、0歳児を含む保育をも目的とした施設整備において、安全確保が基礎になるべきことには異論の余地がない。孤立を前提とした安全確保は想定外に対しての策であり、想定内の自然現象での避難を前提とする安全確保も行政責任を果たせているとは言えない。

浜坂認定こども園建替え候補地鑑定料を認めず。

むだばなし

中学1年生の時、秋の交通安全旬間を控えた全校集会で井上英雄校長先生が「旬間」とは何かと全生徒に向けて質問されました。

その時、10日間であることを知っていた私は、同級生に、ひそひそ話しができて手も上げて発言することができませんでした。

そんな自分自身が嫌になったことが切っ掛けで、その後、どんな場面でも発言が求められれば、自分なりの意見や感想が述べられるようになると意識し始めました。

学生時代は勇気が必要な機会はありませんでしたが、大阪の建築事務所に就職した年に、当時、コーヒーの商業で「違い分る男」として一般にも知られていた建築家：清家清氏の講演会に参加し、千人程度の会場で機会があって、決意の質問をしました。

その後もあらゆる場面で努力していますが、目的を外さないよう心掛けたいと思っています。



保育環境をどう整備するか (浜坂地域)

浜坂認定こども園建替え候補地

先の12月議会会期中の民生教育常任委員会において、こども教育課から、整備検討委員会で報告された建替え候補地A案(現在地北側)、B案(現在地東側)及び10月の総務教育常任委員会で委員提案のあった2箇所を含めた4箇所の浜坂認定こども園建替え候補地比較表が提示されました。

その説明は、従前から何ら踏み込むこともなく、候補地選定審査会が最終決定したB案を決定づけ、委員を納得させる内容から、かけ離れていました。

つまり、10月の総務教育常任委員会での「浜坂地域全体のこども園の在り方を検討せよ」、「こども園の安全確保を再検討せよ」との大勢の意見を正面から受け止めていないと思いました。

整備検討委員会の検討経緯は？

委員会としての建替え候補地選定にあたり、浸水想定域から外れ、住宅地と同等の安全が確保できるC案(私が提案した現在地西側)が候補地から除外された経緯について、同じく議会中の民生教育常任委員会で、検討委員会の議事録を確認した上で、こども教育課に質疑しました。正式な答弁は得られず、「課としても理解し難いが、コメントできない。」とのことでした。

安心・安全を確保できる現位置西側拡張：C案



環境整備を検討するための別の視点

保育園(所)は、親(保護者)が働いている、病気の状態にある等の理由により家庭において十分に子どもを保育できない場合に、**家庭に替わって子どもを保育するための「児童福祉施設」**です。

そのため、大人の都合を最大限受け入れられる環境とすることが求められます。

一方、子どもの立場では、幼少期に親を初めとする近親者と過ごすことの重要性を理解しておくことも行政の立場ではないでしょうか。そんな意味では、**家庭保育支援**や**就労環境改善支援**も同時に検討する必要があります。

大庭認定こども園の在り方、早期議論を！

町当局は今まで大庭認定こども園は存続させると説明してきましたが、浜坂認定こども園より4年前に建築されているにも関わらず、改修整備のタイムスケジュールさえ示していません。

0歳・1歳児保育の早期受入れが求められている今、大庭認定こども園の位置付を確かなものとし、浜坂認定こども園と同時進行で整備を進めるべきだと考えます。大庭認定こども園は、浜坂認定こども園整備想定費用の1割程度で、かつ短期間で耐震改修整備が可能です。早期の保育環境改善には有効です。

私たちの町のできごと

第6回 新温泉町子ども議会

10月11日(金)本町議会議事堂で、6回目となる子ども議会が開催され、傍聴させていただきました。議長は前半後半に分けて、二人の中学生が務め、9人の中学生議員が町長と教育長に対して、一般質問をしました。

地域での暮らし、人口減少、人材不足、交通手段確保、人権・道徳、地域振興、風力発電など、生活に密着した課題について、鋭く質問していました。

12月議会でも、子ども議会の取り組みについて、太田昭宏議員が一般質問で取り上げ「素晴らしい質問に対し、当局の答弁では現状説明が多く、改善が必要。」と指摘し、ふるさと教育の一環を全生徒に波及できるよう求めました。

勉強の一環ではあっても、小さい頃から地域の課題について考えることは、誰にとっても重要だと実感しました。

中学生の発言の中では特に自治体としての存続を心配したり、施策には工夫が必要だと進言したり、「大人も道徳や人権を学ぶ機会を」、「未利用公共施設の有効利用を」などの意見があり、真剣な取り組みが感じ取れました。

子ども議会終了後の祈念撮影



松葉ガニ解禁いざ出漁

11月5日(火)午後10時30分頃からずわいガニ漁の解禁となる11月6日(水)午前0時の漁場を目指して、浜坂漁港の大船団が出港しました。

私は、議員になって初めて、出漁の見送りに参加し、今回3回目になりました。

昨年の初セリでは、新たにできた「光輝」ブランドで1枚三百万円の値が付き、浜は活気づきました。

我が町、新温泉町を支える基幹産業です。就労環境も改善され、地元就労者増が期待されると同時に付加価値をつけることへの支援も必要です。

浜坂道路Ⅱ期工事



11月10日(日)山陰近畿自動車道 浜坂道路 期起工式が挙行され、鍬入れでは、今まで見たことのない前後二列の長い砂山に大勢の関係者が見事、一斉に鍬を振り降りました。本工事は7年という短期完成を目指し、私たちの町の環境を一変します。

私たちには、この道路の有効活用が求められます。

ふるさと納税制度活用

ふるさとづくり寄付条例の一部改正 (継続審議)

ふるさと納税の受入れと活用を定めた「新温泉町ふるさとづくり寄付条例」の一部改正が12月議会で提案されました。

会期中の総務産建常任委員会で同案が審議された中で、寄付金使途の範囲を広げる改正部分の内容不備の指摘に対し、本会議までに当局が補正対応できなかったため、継続審議となり成立しませんでした。

しかし、私の提案に繋がる第一歩であると捉え、指摘された改正内容が適正に整理された上での早急な成立が望まれます。

<ふるさと納税制度活用提案>

- ①ふるさと納税者が支援したい活動を選択できるようにすること
- ②活動団体がお礼品事業を直接担当できるようにすること
- ③町の自主財源が必ず増える制度とすること

この提案は、各地域づくり活動や各地域自治問題解決にも、繋がります。